



平成 26 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 東海ゴム工業株式会社  
代表者名 社長 西村義明  
(コード：5191、東証・名証第1部)  
問合せ先 広報部長 岩代二郎  
(TEL. 0568-77-4222)

## 商号変更および定款の一部変更に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 26 日開催の取締役会において、平成 26 年 6 月 19 日開催予定の第 126 期定時株主総会で定款の一部変更が承認されることを条件として、以下のとおり、商号を変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 商号の変更について

#### (1) 変更の理由

当社は、1929 年に蒲田善蔵が姓を冠した工業用コンベアベルト製造会社「蒲田調帯株式会社」の商号で創業し、1937 年の株式会社住友電線製造所（現・住友電気工業株式会社）による資本参加を機に「東海護謨工業」に改称し、1961 年に「護謨」の文字をカタカナとする現在の商号といたしました。

この間、当社は、コンベアベルトや高圧ホースなど産業用ゴム製品の製造で培った「高分子材料配合技術」を基礎とした製品開発を進め、1954 年に開始した自動車用防振ゴムの量産により自動車分野に本格参入し、その後、鉄道用軌道の部材や橋梁用支承などのインフラ分野、事務機器向け精密部品などの情報通信分野へと事業領域を広げてまいりました。そして近年では、従来の事業をさらに強化するとともに、新分野における事業開発を積極的に進めており、前期の定時株主総会では、事業目的において「自動車」「ICT（情報通信）」「インフラ」「住環境」「医療・介護・健康」「資源・環境・エネルギー」の 6 分野で既存事業の強化と新製品の開発・販売を進めていくことを明らかにする定款変更を行っております。

また、当社は、創業初期より住友グループの一員として事業の着実な発展に努めてまいりました。「信用を重んじ確実を旨とし、浮利に趨らず」をはじめとする住友事業精神を忠実に守り、住友電気工業株式会社から移管した製品や技術もベースとしながら、現在では自動車用防振ゴムで世界シェアトップの地位を獲得するなど、全世界で 24 カ国に拠点を持つグローバル企業にまで発展を遂げてまいりました。

当社は、事業展開を持続するための経営指針として、2015 年度を最終年度とする中期経営計画「2015 年 TRI GROUP VISION」を策定し、以上に述べた 6 分野を重点分野と位置づけ、2020 年代初頭に連結売上高を 1 兆円とする目標を掲げております。この実現に向けた新事業・新領域への進出を加速させる原動力とするため、当社は、信頼の厚い世界ブランドである「住友」と、高分子材料配合技術に代表される理化学・工学の技術を意味する「理工」を組み合わせた「住友理工株式会社」に商号を変更するものであります。

(2) 新商号

住友理工株式会社 (英文: Sumitomo Riko Company Limited)

(3) 変更予定日

平成 26 年 10 月 1 日

2. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

当社が商号変更の実施にあたり、定款における商号に関する記載部分の変更を必要とするため。

(2) 定款変更の内容

(変更箇所は下線の部分であります。)

現 行 定 款	変 更 案
<p>第1条 (商 号) 当社は、<u>東海ゴム工業株式会社</u>と称し、 英文では、<u>Tokai Rubber Industries, Ltd.</u> と表示する。</p> <p>(新 設)</p>	<p>第1条 (商 号) 当社は、<u>住友理工株式会社</u>と称し、英文 では、<u>Sumitomo Riko Company Limited</u>と表 示する。</p> <p><u>附則</u> <u>第1条 (商号) の変更は、平成26年10月1日</u> <u>をもって効力を生じるものとする。なお、</u> <u>本附則は、第1条の変更の効力発生後削除さ</u> <u>れるものとする。</u></p>

以 上